

豊富なバリエーションを揃えるセナ・インターコム
その中から自分の使い方に合ったモデルを選びたい
フローチャートで選べば、ピッタリの1台が見つかる!

写真/増川浩一 文/八百山ゆーすけ
問: セナBluetoothージャパン <https://senablueetooth.jp>

Theme

インカム通話と音楽、ナビを 同時に楽しみたい

通話相手は30K/50シリーズ?

YES

Jogダイヤル?

YES

50R

50S

目立たないデザインが良い?

YES

20S EVO

SRL2

最大8人でのグループ通話機能や最大2000mまでの通信距離など、高いレベルの実力を備えたセナの50S/Rに次ぐプレミアムモデル。プレミアムHDスピーカーでオーディオのグレードアップも可能だ
価格: 3万7840円 (シングル)
7万2380円 (デュアル)

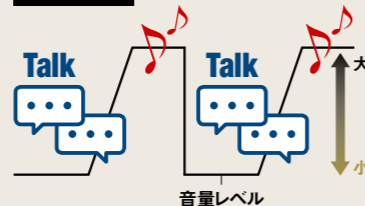
SHOEIのGT-Air II、J-Cruise II、NEOTEC II専用の内蔵型インターコム。この3モデル専用に設計されており、装着はスムーズだ。最大8人でのグループ通話や、オーディオマルチタスクなど、20S EVO相当の機能を備えている
価格: 3万6740円

SENAのオーディオマルチタスクとは?

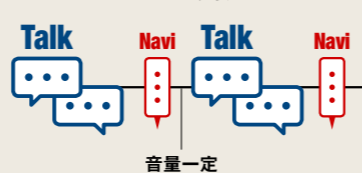
SENAのハイエンドモデルは通信チップを2枚搭載

オーディオマルチタスク機能が、インターコム通話とスマホアプリの音声と同時に聞ける秘密は通信チップを2個搭載していることにある。セナ・メッシュを採用する50シリーズや30Kは、インターコム通話をメッシュチップが担当し、スマホの音声はBluetoothチップが処理を行う。また20シリーズやSRLシリーズはBluetoothチップを2枚搭載し、片方がインターコム通話、もう片方がスマホの音声を処理することで同時再生を実現。一般的なインターコムはチップが1枚のため、インターコム通話とスマホの音声を切り替えて使うことになる。

音楽の場合



ナビ音声の場合 ※アプリから設定する必要があります



50シリーズ、30K

MESHチップ Meshインカム通信用
Bluetoothチップ 周辺機器・Bluetoothインカム接続用

20シリーズ、SRLシリーズ

Bluetoothチップ Bluetoothインカム通信用
Bluetoothチップ 周辺機器接続用

その他の機器

Bluetoothチップ 周辺機器・Bluetoothインカム通信

同時に楽しめる機能がオーディオマルチタスク

インターコム通話に、スマホの音楽を聴いたり、ナビの音声案内を聞いたり、今やインターコムはライディング中の多彩なオーディオソースになっている。ただし、ベシッ的なインターコムでは、こうした複数の音声を同時に利用することができない。こうしたインターコムのユーザーが求めることは、「スマホの音楽をBGMとして聞きながらインターコム通話をしてほしい」「インターコム通話中でもナビアプリの音声案内は聞き逃したくない」といったもの。

そんなニーズに対してセナ・インターコムは「オーディオマルチタスク」機能でインターコム通話とスマホ音声の同時利用が可能。この機能を備えている5S、SFシリーズと10シリーズはナビ案内に対応。20シリーズとSRLシリーズ、50シリーズであれば、グループで通しながらスマホで音楽やナビの音声が聞ける。

この、インターコム通話とスマホの音声を、切り替えて使うか、それとも同時に聞くかというのは、実際に使ってみると大きな違いがある。もし、両方を同時に使いたければ、オーディオマルチタスク機能付きのモデルを選ぼう!